



<オリンピックにおける男女平等について>

2020年東京オリンピックの新種目では女性の参加を重視するという項目があり、柔道の団体や卓球のミックスダブルスなど、男女混合の種目が前回のリオデジャネイロ大会の2倍となる18種目に増えるそうです。それによって女性の参加人数が前回の大会の45.6%から過去最高の48.8%に上がり、IOC競技部長は「男女平等の実現に向けて非常に重要なステップだ」と強調しています。



<歩きスマホについて>

電車、バス等の中はもちろん、歩きながらスマホ等を操作している光景はどこでも見かけます。自動車、自転車の運転中にメール操作等することは禁止になっています。



ハワイのオアフ島では今年10月25日より、道路横断中の「歩きスマホ」が禁止され、違反者には罰金が科せられることになりました。歩行者が道路を横断中に電子機器(携帯電話・スマートホン・ノートパソコン・タブレット端末・携帯電子ゲーム機など)の画面を見る行為が対象です。単に音声通話をしているだけ、一般歩道の通行中は対象外です。日本でも大半の人が、携帯電話を持つ時代です。ついうっかりで怪我をしても、させても大変です。「歩きスマホ」には注意しましょう。

<食を考える>

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所によると、2015年に1億2709万人だった日本の人口は、2053年には8808万人に減ると推測されています。一方、現在の世界の人口は約74億人で、1日に20万人増えるといわれ、2050年には95億人に達すると予想されています。多くの食料の増産が必要ですが、生産のため開墾できる土地は限られています。日本の技術は食料生産を上げるために、品種の改良、土壌肥沃の維持向上、保存技術の開発などに貢献してきました。しかし、戦争、異常気象、干ばつ、病虫害の影響などで食料が生産されずに、南アジアやアフリカなどでは命にかかわるほどの食料不足の地域もあり、世界の人口の1割にあたる8億人が飢えています。また、毎年310万人の5歳以下の子どもが栄養不足で亡くなっています。

今年8月、日本の食料自給率がカロリーベースで38%になったというニュースが流れました。62%は外国から輸入しています。そのおかげで飢えることもなく、多くの人は3食食べることができています。せっかく輸入されて私たちのもとに届く食料も、3分の1は廃棄されています。私たちは今の生活のありがたさを自覚し、世界にも目を向けたいものですね。

